

提 案 書 要 約

- 1 事業名
- コロナ禍を経て回収された再利用のできないアクリルパーテーションの活用
今ある資源だけで装飾をするリユース特化型装飾事業の創生
- 2 応募者名
- 株式会社LINO

3 内 容

(1)目的・位置付け

- ・当社は東京江東区にてデザイン設計等を行い、東京都内及び全国に装飾のご提案・実施工を行う。また、装飾だけではなく企業自体の経営コンサルタントも行う。
- ・パートナー企業の課題として飛沫防止アクリルパーテーションがコロナ禍で爆発的に需要が伸び、その後第5類に分類されたことによる需要の大暴落を経て、用途がなくなっている旨を受けて用途の検討を開始。
- ・装飾業では現在、新規素材をわざわざ高価格で購入し、使用後は再利用等されずに廃棄されるワンウェイ使用が多いため業種の垣根を超えて再生資材にならないアクリルを再利用する事業を実施したい。
- ・敷居の比較的低い、装飾及びワークショップという分野でサーキュラーエコノミーを推進することにより、東京都民の資源循環に対する知識の底上げ・醸成を目指す。

(2)実施内容

- ①当社にて装飾に活用するための初期デザインの制定・加工に必要なデザインを作成。製図を起こし、委託業社へ共有。同時に飛沫防止パーテーションを協力企業から回収。
- ②製作委託業者にて詳細の設計及び、製作機械への打ち込みを実施し、製作の実稼働を行う。当社でも試作段階から視察にいき、設計や仕上がりについてのフィードバックを適時実施。
- ③当社にて商業施設及び協力企業への営業を実施し、ワークショップの実施もしくは装飾納品まで行う。その後も形を変えることで他企業への提案を引き続き行い、アクリル装飾の一選択肢としての事業確立を図る。
- ④(1)都内商業施設の改修工事に伴うウィンドウディスプレイ内(2)渋谷区・中央区等でのイベント実施時の装飾の一部として(3)都内での実施されるワークショップでの活用(4)和歌山県内動物園の装飾の一部として活用想定。

(3)取り組み実績

- ・今回ご提案の取組に関連する取組を過去に行ったことはございません。
- 今後の想定として、ウィンドウディスプレイ等造作のウィンドウガラスの代替切り出し加工をして、装飾造作物(モニュメント)の枠に使用もしくは溶解し、成形したアート作品等に使用予定。
- ※参考：都内商業施設ディスプレイ



(4)本事業において期待される効果

- ・急務である再利用可能な資源ではない、異素材混合アクリルパーテーションの再利用先として活用できる事業の開発のため、ワンウェイ使用の廃棄物の削減に貢献することが可能。
- ・アクリル装飾については単価が非常に高く、あまり装飾業界で取り入れられていないものの再利用素材を活用することによってコストを抑えることができ、高クオリティの装飾が都内に現れることで商業施設などでの購買意欲促進が見込まれる。
- ・装飾業界での使用可能商材として選択肢が増えることにより、業界全体のクオリティ向上が見込まれる。
- ・脱プラを掲げているNPO法人ジョブクリエイターと共同開発することにより、循環に則した製品であることはもちろん、福祉支援の面でも非常に価値のある製品が創出される。
- ・地域密着型の装飾及びワークショップという分野でサーキュラーエコノミーを推進することにより、東京都民の資源循環に対する知識の底上げ・醸成を目指す。

(5)実施体制と各社役割

